



育成センターだより

鹿児島市山下町6-1 Tel 227-1972

【3月の重点指導事項及び着眼点】

- 1 深夜はいかい・非行防止。
夜間の商業施設、遊技場、駅等でのはいかい少年への声かけ(家出、万引き、飲酒ほか)
- 2 喫煙・薬物乱用防止
未成年者の喫煙、薬物使用等に対する防止及び啓発活動の推進



新たな道へ力強く踏み出せ

春3月、子どもたち一人一人の成長を一段と感じる季節。子どもたち自身も、振り返りの機会を作って、努力したことや伸びたこと(達成できたこと)などを、自分自身で実感してほしいものです。その振り返りの中で、まだやり残していることや達成できていないことに気付いたら、残りまだ1か月もありますので、次年度の新しい生活(就職・進学・進級)に向けて、更に力が付くよう復習やまとめ、準備を計画的に進めてほしいと思います。

小6、中3、高3の皆さんの中には、通い慣れた学び舎で互いに支え合い・語り合った仲間との別れが近づき、寂しい思いを募らせたり、新たな生活への不安な気持ちを抱いたりする人がいるのではないかと想像しますが、数多くの楽しい思い出を胸に、新たな道へ力強く踏み出してほしいと願います。

そして、卒業の日、自分がこんなにも成長し、大きな喜びを味わえた陰には、四恩(親の恩・師の恩・友人の恩・社会の恩)の支えがあったことを心に刻み、「感謝の心」を大切にする一日にしてほしい

と思います。

ただ、奇しくも今年の卒業生は、濃厚な人間関係や人生の基盤を築く貴重な3年間を、感染症予防対策はもちろんのこと、行事等での活動の制限を受けて悔しい思いをすることの多い学校生活を送りました。想像するだけでも大変だったと思いますが、そんな状況にありながらも皆さんは、我慢強く感染に十分留意しながら学校生活を送ってくれました。

思い描いた学校生活とは少し違ったかも知れませんが、与えられた環境の中で、一人一人が自分の目標に向かい、挑戦・努力したことは掛け替えのない日々だったと思います。

長い人生には、辛いことや悲しいこと、苦しいことがあります。そんな試練を一つずつ乗り越えるたびに、人間は、たくましさ生きる力を身に付けていきます。今後も、心豊かに自分にあった具体的な目標を立て、己のより深い可能性を再発見せんとする自己改革の精神で前進してほしいと思います。

君が行く道
頼千照
新億のすな
お星よ
いになう
をた

NHK「舞いあがれ」より



地域の「目」

アメリカインディアンの子育て四訓というものがあります。どこかで聞いたことがあるのではないかと思います。

- (1) 乳児はしっかり肌を離すな
- (2) 幼児は肌を離せ、手を離すな
- (3) 少年は手を離せ、「目」を離すな
- (4) 青年は目を離せ、心を離すな

小・中・高校生になった子どもたちは、今(3)の段階でしょうか。交友関係も広がり、行動範囲も時間も広がり、私たちは忙しい。そんな時代で、実際「『目』を離すな」と言われても、なかなか難しいことだと子どもを持つ親として感じていることです。

「目」を増やせたらどうでしょう。

子育ての親の役割は非常に重要です。ですが、「『目』を離すな」と言われても、1人では限界があります。複数ならどうでしょう。私はそれが地域が育む青少年健全育成の醍醐味ではないかと思っています。たくさん「目」があれば、子どもたちも安心して成長できるのではないかと思います。これからも、たくさん温かい「目」で子どもたちを見守っていきましょう。

春の心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育てる運動

春は、卒業・進学・就職など、青少年にとって人生の節目となる貴重な経験をする大切な時期です。青少年の生活環境が変わるこの時期に、家庭・学校・職場・地域及び関係機関・団体が緊密な連携を図りながら、市民一人一人が、青少年の健全育成に対する理解を深め、次代の鹿児島市を担う心豊かで元気あふれる「さつまっ子」を育成するため、下記の運動を実施いたします。

記

1 期間 令和5年3月11日(土)～4月10日(月)

2 テーマ

「育てよう 思いやりのある子に たくましい子に」

3 重点事項

- (1) 青少年の仲間づくり支援
- (2) 「おはよう」などの温かい声かけ
- (3) 親子でさまざまな体験活動への参加
- (4) スマートフォン、ゲーム機器等の正しい使い道やトラブルについて、家庭や地域での話し合い

4 実践事項(「新しい生活様式」を取り入れて)

- (1) 本運動の普及・啓発活動の推進
- (2) 地域ぐるみの青少年育成の推進
- (3) 青少年を育てる環境づくりの推進
- (4) 明るい家庭づくりの推進
- (5) いじめ問題への取組
- (6) 交通事故防止の推進



【 育成センターの声かけ状況 】

◇ 1月の声かけ人数 447(136) 前年同期 418(127)

◇ 1月の学職別声かけ人数 ()は女子再掲 ▲は減

※ 不健全娯楽(ゲーム場への出入り) ※ その他(怠学、喫煙、夜間の帰宅指導等)

	小学生	中学生	高校生	他学年	有職少年	無職少年	合計
不健全娯楽	35(17)	91(20)	277(99)	0(0)	0(0)	0(0)	403(136)
その他	0(0)	1(0)	43(12)	0(0)	0(0)	0(0)	44(12)
合計	35(17)	92(20)	320(111)	0(0)	0(0)	0(0)	447(148)
前年度比	▲6(7)	▲30(▲1)	65(15)	0(0)	0(0)	0(0)	29(21)

◇ 1月の地区別声かけ人数 ()は女子再掲 (声かけの記録から)

地区	人数	割合
中央駅	207(87)	46.3%
天文館	65(16)	14.6%
谷山	149(42)	33.3%
上町	5(0)	1.1%
鴨池	21(3)	4.7%
伊敷	0(0)	0.0%
その他	0(0)	0.0%
合計	447(148)	100.0%

○ (夜間声かけ)土曜の夜、ここの遊技場は、多くの未就学児や小学生が家族と一緒に訪れ賑わっている。見てみると、夢中になってマスクを付けずにゲームをする子どもたちがたくさんいる。感染は大丈夫だろうか？
もう一つ気になるのは、幼い子どもたちが、ゲーム機の刺激的な光をいっぱい浴び、夢中になって遊んでいるが、子どもたちの脳の発達に悪い影響はないのだろうか。各家庭で、発達段階に応じた遊びについて、真剣に考える時機にきているように感じる。

【 市内三署の補導状況 】

★ 期間 令和5年1月(各署の人数は、1月からの累計で表示)

◇ 不良行為別少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

行為	飲酒	喫煙	粗暴行為	暴走行為	家出	深夜はいかい	怠学	不良交友	その他	合計	前年同期比
中央署	1(1)	4(2)	0(0)	0(0)	2(1)	1(0)	0(0)	0(0)	4(3)	12(7)	▲6(2)
西署	0(0)	7(1)	0(0)	0(0)	0(0)	6(4)	0(0)	0(0)	0(0)	13(5)	10(2)
南署	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	0(0)	0(0)	0(0)	2(1)	▲8(▲1)
累計	1(1)	11(3)	0(0)	0(0)	2(1)	9(5)	0(0)	0(0)	4(3)	27(13)	▲4(3)
割合	3.7%	40.8%	0.0%	0.0%	7.4%	33.3%	0.0%	0.0%	14.8%	100.0%	
当月合計	1(1)	11(3)	0(0)	0(0)	2(1)	9(5)	0(0)	0(0)	4(3)	27(13)	※発生件数

◇ 犯罪(含触法)少年補導人数 ()は女子再掲 ▲は減

学職	小学生	中学生	高校生	他学生	有職少年	無職少年	合計	前年同期比	行方不明届受理少年数
中央署	0(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	0(0)	1(0)	0(0)	4(2)
西署	1(1)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	0(0)	1(1)	0(1)	3(1)
南署	0(1)	0(0)	1(1)	0(0)	2(1)	0(0)	3(2)	1(0)	5(1)
累計	1(2)	0(0)	1(1)	1(0)	2(1)	0(0)	5(3)	1(1)	12(4)
割合	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	100.0%		
当月合計	1(2)	0(0)	1(1)	1(0)	2(1)	0(0)	5(3)	※ 当月の発生件数	

◇ 少年サポートセンター

- ① 非行防止教室、薬物乱用防止教室のいずれも、1・2月の実施はなかったが、3月に市内小学校1校で2回目の非行防止教室を実施する予定である。
- ② 居場所づくり活動では、1月に引き続き2月12日に陶芸教室(絵付け)を実施した。
- ③ ヤングテレホンは2件であった。
- ④ サイバーパトロール活動は継続中であるが、相変わらず不適切な書き込みが見られ、注意喚起メッセージの送信を行っている。
- ⑤ 補導職員が、午前・午後中央駅近辺を巡視しているが、特に気になるような事案はない。